

第 37 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 24 年 11 月 29 日(木) 午前 10 : 30 ~ 11 : 35
2. 開催場所 箕面市船場東 2-5-47 COM3 号館 5 階 COM 倶楽部会議室
3. 委員の出席 委員総数 10 名
- 出席委員 9 名
- 出席委員の氏名 稲垣千秋、稲井信也、井上光央、桑田政美、
須貝昭子、高谷和彦、中 宏、中村 保、
牧野直子
- 以上 9 名
- 放送事業者側出席氏名 岡田 堅治 (取締役)
大平麻由美 (編成課長)
野間 公平 (編成課員)
4. 議 題 1) 番組 タッキーC ネットだより
2) 審議
3) その他番組に対する意見
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

6. 審議内容

1) 番組

(1) 事務局より番組説明

おはようございます。今回は「タッキーC ネットだより」をご試聴いただきました。みなさまにも一度ならずと、ご出演いただくことがあるかと思えます。生放送内で箕面にお住まいのいろいろなかたに電話でインタビューするコーナーです。放送時間は、毎週月曜から木曜までの朝8時40分から8時50分まで。夕方に再放送しています。箕面市内にはいろいろな活動をされているかたがいらっしゃると思いますが、そういったかたたちにいろいろなお話を聞いていく、ということではお話を聞き続けるうちにひとつのネットワーク的なものができるのではないか、というねらいもあります。そういうねらいもあって「コミュニケーション・ネットワーク」、「C ネット」と名付けています。内容は、催しを企画されている市民のグループのかた、特異な活動をされているかた、などを中心にご紹介しています。聞き手は月曜と火曜が藤澤智恵子、水曜と木曜がやぶたあきこです。ご審議よろしく申し上げます。

(2) 審議

委員長：ありがとうございます。それでは早速お一人ずつご意見をいただきたいと思えます。

委員：「C ネットだより」は私も何回か出させていただいたことがありますが、10分間という短い時間の中でコンパクトに活動紹介やイベントのお知らせを放送していますので、自分もその時間チューニングすることがあります。特に気になることはなかったです。箕面でたくさん活動、いろいろなイベントがあって、ポスターもよく見るんですけどなかなか内容がどんなものか分かりませんのでこういう形で知らせていただくというのはたいへん参考になります。ただ、夕方に再放送があるというのは知りませんでした。よく聞き逃したり、朝の忙しい時間だったときに「夕方もやってるから聞いてね」と言えたら良かったな、と思いました。

委員：「C ネットだより」はうちもいろいろな活動団体さんにつなげたり、うちがやるような事業でも出ささせていただいたり、よく利用させていただいているので、利用者側の立場と聞いていただきたい立場と 2 つ考えながら聞かせていただいたのですが、ひとつは再放送しているのですが、同じ内容を 2 回放送するチャンスがあるというのは良いな、と思ったのと、どうしても 8 時 40 分って結構みなさんお忙しい時間帯で、依頼するときも「この時間移動中」だとか「朝忙しい時間だから電話は大変」という声も聞きながら、せっかく PR のチャンスなので、ということで何とかお願いしているというところがあるので、もうちょっと時間をずらすというのはどうなのかあ。ただ、ここがいいというかたちで最終的に落ち着いた時間帯なのかな、とも。それと、やっぱり現場で聞いてもらえればもっと臨場感があるのにな、というところがあるので、「C ネット」に出るときはコマーシャルというか、事業の前に出て「こんなことがもうすぐあります」という PR の場になるので、当日それを迎えてどうだったか、ということが聞ける番組も必ずあれば、さっき言われた「ネットワーク」ということでは効果が果たせるんじゃないかと思いました。放送自体は、それぞれイベントの魅力とか主催者側の立場で短い中でぐっと詰め込んだ内容をおっしゃっているので伝わるというか。で、知っている人が出ると「あ、あの人だ」と。つついそんな気持ちで熱心に聞いてしまうので、内容はじゅうぶんに伝わる番組かな、と思って聞いていました。

委員長：どうもありがとうございました。放送なさったときに「再放送は何時から」ということは言ってらっしゃるんでしょうか。

事務局：打ち合わせ段階で、パーソナリティからなるべくお伝えするようにしています。

委員：私もときどき出ささせていただいているので、PR する立場で聴きました。印象的には、聞き手・アナウンサーのかたが朝にふさわしく、元気で良い、そういうイメージです。内容は分かりやすく、いきさつとか裏話とかが非常に伝わってきたのですが、当日何をやっているのか、当日何が面白いのかが分からなかった。「当日こんなにおもしろいよ、だから行っ

てみよう」という「当日」がもう少し入っていると良い。ほとんどは抽象的でこれを聞いて「面白そうだから行こうか」というところに結びつかないのではないかと、というイメージで聞いていました。あと、たとえば地域盆とか老人会とか、もっと身近なものもどんどん取り上げていけば、もっと面白いかな、と。でも、こういう番組いいよね。

委員：地域の情報を発信されているんだな、というこの番組の趣旨が伝わってきました。10分程度のおしゃべりの中で、催しの中身とか、自分たちがこういうテーマで、こういうことを考えているんだ、ということなどよくまとめてしゃべられたな、と。それと、朝の放送があって夕方の放送の時間帯に、できれば「あのときお伝えしたCネットの催しはこんな感じでしたよ」ということをお伝えしていただける方が、再放送で聞くより良いんじゃないかな、と思った次第です。

委員長：どこかの場面で「Cネットだよりで放送した催しの結果はこうでしたよ」と報告できるような時間があればいいですね。

事務局：ご出演いただいたかたに報告メールでご連絡をいただく、そういったコミュニケーションをとらせていただければお応えできますね。取材に出られなかったイベントを、また市民のかたにご協力いただいて結果報告していただけるようにつなげられればと思います。

委員：番組としてはよくまとめておられますし、10分の時間の中で十分な情報が聞けて、初めて聞いたのですが、ほんとうに良い番組だな、と思いました。特に自分の言葉で自分の言いたいことをしゃべれるように聞き手のかたも上手に引き出していらっしゃるし、上手に伝わった良い場面だな、と思いました。これからも続けてください。

委員：以前から箕面市の動きを知るためには良い番組だな、と思っていました。今回の内容も情報の伝達としては良かったのではないかと思います。何よりも企画されているかたの生の声が聞けるというのが一番良いかな、という思いです。今回に限った内容ですが、梅花のチアリーディングのかた、どちらかという今まで箕面自由学園にとられていたんでしょ？

だいたいトップは箕面自由学園が獲っていたのが、梅花が巻き返した、という話。根性話が裏にあったりして、面白かったな、というところがあります。そういうことを思い浮かべると内容も面白いなあ、というところはありましたね。今回に限ってですが。「だるま堂」にしても仲間がやっているものですから、一生懸命応援したいのですが内容が伝わってきて面白かったと思います。情報伝達番組としては続けてほしい一本だと思います。

委員：とても聞きやすくて、司会者 2 人とも良いなあ、と思いました。今回電話をつないだ 4ヶ所のいずれもみなさんお上手で聞きやすかった。10分という限られた時間の中で、聞いていて聞きやすかった。電話で聞き取りにくいところもなく、全部はつきりとしていた。10分でこれだけのことができるんだから、聞く方も素晴らしいですが、話す方も聞きやすく話してくださった感じがありました。

委員：いつも思うのですが、これだけ聞くと良いんじゃない？ということになります。今日は、平たく言って「辛口コメント」を言わせてもらおうと思います。こんな番組は絶対必要だと思うのであえて言わせていただきます。まずタイトル。分からないですね。番組表にも「タッキーC ネットだより」とありますが、何のことだか全く分からないですね。解説はされるんですね？「コミュニケーションネットワーク云々…」。じゃあ、これってなんなの、ということになる。内容がイベント情報なのかサークルの紹介なのか人の紹介なのか。全く絞れていないので、いろいろ流れてはくるのですが、聞く方も分かりにくい。で、イベント紹介ということであれば、10分はだるいですね。たとえば、いつどこで誰が何をいくらでやるか、ということ言って、PR をが一っとやってもらったら、3分かそこらで済むんですよ。そうすると 3組ぐらいが「今週の箕面イベント情報」ということでやればできるかなあ、と思ったんですね。また、番組そのものもちよっと面白みにかけるかな、と。というのも、一日の中で 2 番めにラジオのリスナーが多い時間帯なんですね、朝の 8 時～10 時というのは。たぶんみなさんご存知だと思いますが、そこに他の局を聞いているんですよ。浜村淳さん、道上洋三さん…そうすると、なんか番組の中身が曖昧すぎて、そのへん中身も工夫がいるかな、と。情報な

ら情報でいくとか。非常に真面目にやっぴらっしやるのが伝わってくるので辛口コメントは言いたくはないのですが、お話されるかたもパーソナリティのかたも丁寧にやっぴらっしやるので「もったいないなあ」というのがありました。

委員長：「タッキーC ネットだより」というタイトルについてですが、説明は。

事務局：毎回枠をつけているということではあるのですが、タイトルだけで全てを表せるようなものをつけるのがひとつ基本だとは思いますが。イベント情報だけなら3分程度でもいけると思いますが、思いとしてはイベント情報だけではなく、街のかたとお電話を結ぶなかで、朝のようすから入って、お住まいの地域のこと、今日のごみの日だったよ、とか、お天気はこうだよ、というお話の中から、だんだん持っている情報を発信していただく、という思いがあります。このコーナーの趣旨をパーソナリティにも理解してもらい、朝のようす、地域のようすから入って、そのかたにふれてそのかたの持っている情報を発信していただく、というような時間に今後もしていけるように、みんなと話し合っていきたいと思えます。

委員長：即中身に入るので、タイトルだけでは内容が分からない、ということがあるかもしれませんので、何か別の良いタイトルがあるようでしたら、またそこを考えていただければと思います。私は、もうちょっと踏み込んだ中でのやり取りを皆さんにお知らせしているという感じで非常に良いかと思いますが、内容でちょっとだるいなあ、というものもあるかと思いますが、それはこちら側のやりとりで考えていただく値打ちがあるかと思いますが、10分という時間でこれだけこなしていただいている中でもし時間的に余裕があるようでしたらできるだけほかの情報も入れていただくなど数を増やしたり減らしたりして柔軟に対応していただくと、中のだるさも緩和されるかな、と思います。よろしくお願ひします。お一人ずつご意見いただきましたが、何かあれば。

委員：紹介するイベントやご出演いただく団体さんはタッキーで選択されているのですか。

事務局：はい。

委員：どのように情報を集められているのですか。今回の場合、9月22日・23日の土日のイベントに集中されているので、「土日、箕面でどんなイベントがあるのかな」と思っているかたにとってはすごく良い情報にはなっている。たぶん4つだけじゃないので、さっきも言ったように、情報提供する場面であるならば、もう少し数の枠を広げるという方向もあって良いのでは、と思います。

事務局：お電話で事前PRしていただく「Cネットだより」、もう少し時間を取ってご紹介するイベント、こちらが取材させていただくものなど、総合的に選別しています。ご紹介にあたってどの枠がベストだろう、と考えています。

委員：発信する場面であれば、もうちょっと共通で伝える日程・場所・ポイントであるとかは一つの団体さんタイトにできるかもしれませんね。

委員：一口に言うと出演されたかたにとって、これをやったことで人がどれだけ増えたか、というのが効果測定。これがたくさん来るようになると、出させてくれ、出させてくれ、といっぱい言ってくるようになる。ほかの企業では、1分かけるだけでもどう伝えようかと伝え方を考える。それが、アマチュアだと分からないので、プロの聞き手は、3分あったらこんなに面白いとか無料だとかじゅうぶん伝えるんですよ。それが、プロが誘導しないとなかなか伝えられない。だから、こういうことをやって、これだけの効果があった、ということがじわじわ出てくれば、出る方も聞く方もどんどん広まりがある。これを聞いて面白そうだから行ってやろう、というところまでつなげるというのはプロの誘導の仕方だと思うので、情報番組のいちばんのポイントだと思うので、これだけはぜひよろしくお願ひしたいと思います。

委員長：そうですね。誘導なざるプロのアナウンサーの腕で違いが出てくるなあ、とつくづく思いました。いつ聞いたのかははっきりしませんが、ものすごく

くだらだらと質問、やりとりをしている番組がありました。確かにアナウンサーのかたのやりとりによって全く番組に違う効果があるんだな、とつくづく思いました。

委員長：それでは次に、なんなりとお気づきになったことを審議していきたいと思えます。最初に私から。みなさんに番組表をお配りしていますが、当審議会の中でみなさんの発言があつて、我がタッキー816は地域のFM局なので、みなさんにもうちょっと親しみをもってもらう、もっと身近なものに感じてもらったらどうか、という審議会の中での発言で、事務局に苦勞していただいて、パーソナリティの写真を載せていただきました。ものすごく好評で、「この人がしてたん」とか「声聞いていたけど全然雰囲気ちやうなあ」「ものすごく身近に感じた」というお声がありました。ありがとうございます。だいぶ苦勞して作っていただいたと思えます。

委員：私も顔が掲載された番組表はすごく良いと思えました。ちょうどみのお市民活動センターで流しているときにも「これ誰？」という声。だいたい声の特徴で分かるといえば分かるのですが、こういう風に顔写真があるとより親しみを感じるというか。「よく上手にお伝えしているよね。あの人だれかな」といったときに「この人だったらもう一回聞こう」となるんですよ、聞いている方は。これはすごく良くなったと思えます。字ばかりよりよっぽど訴える力がありましたから。

委員：審議会に来るときに車で聞いていたのですが、ちょうどあるミュージシャンの音楽と出版された本を取り上げていて、そのエピソードの盛り上げ方がすごく良く、声もしっとりしていて良かったので「誰だろう？」と言っていました。ここに来たらまたお顔が見られるね、と言いながら来ました。やっぱりお顔が出ているといいですね。

事務局：番組表に関しては、ご意見いただきながらやっつと反映できました。あと、前回ご意見いただいていた情報紙に番組表を掲載するという件ですが、そうすべく紙面構成を話し合っている段階ですので、近々対応させていただきます。

委員長：だいたいみなさんから意見が出たようです。本日はこれで締めたいと思います。ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置および年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場所における公表内容、方法

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://fm.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 24 年 11 月 29 日

箕面FMまちそだて株式会社 番組審議会